

ジャンル	意見の概要(意見者)
利用ニーズ アンケート	P9 民間園について、自宅から遠いけれども公立にない教育理念に共感して園を選択したのか、園の雰囲気や近くの公立園と比べた結果なのか、これだけではわからない。民間園の人気を強調しようというあまり、公立園が、園の雰囲気や教育方針で民間園に劣るかのような印象を持たせる分析をしている(B)
安全対策	P10 三谷西保育園については津波災害警戒区域(津波浸水予想地域)なので、可能な限り早く安全な場所に移転する必要がある。みや児童館1Fの元高齢者デイサービス施設に移転できないか(B) P14 津波被害が心配な園があるので、検討をするべき(D)
施設面	P10 平屋づくりの築50年は補修することで、まだ十分に使用可能と考えるべき(B) P15 「建て替えによる財政負担増大のため統廃合を視野に入れて検討する」とあるが長寿命化の検討はしたのか(C) P15 建て替えを検討する前に、調理室のない園に調理室を作って低年齢児保育を可能とすることは検討しないのか(B)
保育従事者	P11 保育従事者について蒲郡市の保育士配置基準が国と同じと分かったが、民間園はどのようになっているのか(B) P11 国の最低基準を上回る保育士の配置を盛り込むべき(E) P14 保育園の現場について、非正規保育士の割合が高いという話を聞いた。保育士業務は基本的に定年まで働ける正規採用の職員で行うものだと考える(B) P14 公立で任期の定めのない雇用を確保することは、女性の流出防止、低賃金、不安定雇用で結婚できない、子どもを産めないなどへの対策となる。民間園での労働条件改善も市が取り組むべき(E) P24 市の人件費補助で官民同じ賃金で働けるようにして欲しい。民間でも公立と同じような保育士さんの働く条件を良くして欲しい(F) P25 「施設を整備する財源や保育士のなり手は限られている」とあるが、保育士は責任の重さと過酷な労働条件、低賃金から辞めていく人が多いと聞く。民間経営者は儲けを確保するため給与を下げる。だから離職していく。民間の給与が下がれば公務員保育士の給与も下がるという負のスパイラルを招いている(C)

ジャンル	意見の概要(意見者)
検討する 地区の単位	P16 「公立保育園の今後のあり方を検討する際の地区の単位」を中学校区単位とする根拠は何か(C)
	P16 中学校区で検討すると、小学校区に公立保育園がひとつもない状況が出てくる(A)
保育園の配置	P15 車を持たない保護者もいるので、自転車や歩きで通えるように考えるべき(D)
	P15 「自宅から近い保育園」「小学校区の保育園」を選びたいという需要が圧倒的に多いのだから、公立保育園をその需要に最大限応えられるよう配置すべきだ(B)
	P15 「身近にある保育園を選んだ」という答えが多かったアンケート結果を尊重するなら公立保育園を統合して遠くに通わすべきではない。近くのすべての園で低年齢児保育などが実施され、そこに入所できれば保護者、子どもにとって一番いい環境といえる(C)
	P16 保育園の規模を概ね80～130人程度と決めた根拠は何か(C)
	P16 コロナ禍で小学校の少人数クラスの良さが着目されている中で、保育園の規模(概ね80人～130人程度)の根拠が揺らいできてはいないか(A)
	P16 クラス定員・人員配置を見直すべきである(コロナウイルス感染症対策・災害発生時の対応・子どもを手厚く保育できるように等の理由から)(D)
	P16 人数が少ないことを、まちの魅力としてとらえ、大規模園でなく小規模園にすることを目指すべき(E)
	P16 小さい園、大きい園の良さはそれぞれあるので、地域にあった規模で建て替えるべき(D)
	P16 公立保育園同士の統合ではなく、公共施設同士の統合を提案する。例えば、公立保育園を小学校や公民館の中や隣に設置し、建物の維持管理費などを減らしていくという考え。小学校区単位で考えることで、車を持たない家庭や、子ども、免許返納をした高齢者など車を利用できない人々や世代が、公共施設を無理なく利用できる(A)
	P16 市は公共施設を複合化し施設面積を削減することを考えているが、小学校や公民館を併設して安全安心な保育サービスが実施できるのか(B)

ジャンル	意見の概要(意見者)
保育園の配置	<p>P17 大塚中学校校区について 西大塚と東大塚は距離があるため、それぞれに保育園が必要だと考える(B)</p> <p>P18 三谷中学校校区について 2040年の入所予想数が160人になる。基準を大きく上回っている(B) 2園を統合しても規模が大きいため160人で良いとしているが、基準となる規模80～130人に矛盾している(C)</p> <p>P21 塩津中学校校区について 塩津北保育園になぜ子どもが集まらなかったか分析したのか(B)</p> <p>P20中部中学校校区とP22形原中学校校区について 3園を2園に減らす必然性はない。それぞれが80人ほどの入園児が想定される(B)</p>
民間保育園・民営化	<p>P1 民間保育園の選択ありきで計画を策定すること自体、市民の税金で運営していく公共施設を考える点で不平等性を感じる(A)</p> <p>P15 「民間保育園が独自で保育士の採用を行うことで、公立保育園の保育士を集約できます。」とあるが、民間保育園ができて公立保育園が(保育士の確保が)できない理由がわからない(B)</p> <p>P15 民間保育園の活用を検討とあるが、P16で示された保育園配置の条件を見る限り民間事業者が市民の保育の需要にこたえるために新たに参入することは難しいのではないかと(B)</p> <p>P15 民間保育園は「多様性をもって独自の施設運営ができるため、保育者のニーズに応じ迅速かつ柔軟な対応ができる」とあるが、公立ではできないのか(C)</p> <p>P15 平成20年にみどり保育園、平成22年度に鹿島保育園が民営化された。今後、市の財産を民間に活用することがないようにお願いしたい(D)</p> <p>P24 民営化を進めるよりも公立園の充実が優先である(D)</p> <p>P24 近い将来、建て替えの時期に民営化するのは、心配。公立なら潰れることはないが、民営は採算がとれなくなれば、撤退してしまう恐れがある(F)</p>

ジャンル	意見の概要(意見者)
民間保育園・民営化	P24 「保護者の選択の機会を確保するために公立保育園と民間保育園がバランスよく所在することが望ましい」とあるが、バランスとは何か(C)
	P24 公立と民間のバランスを市全体で考えていくということだが、民間保育園へのニーズは果たして高まっているのか(A)
	P24 「地域の保育の中核的役割を公立保育園が担う」のであれば、将来一つの園しか想定していない地区では公立保育園しかない。蒲中学区では現在の公立3園、民間2園が、公立2園、民間3園にはなることはない。そうすると今後、民間保育園が生まれる可能性のある地区は形原、中部の2地区となる。すでにそのように考えているのか(B)
	P24 民間保育園と連携を保ちつつ、市全体で子育てを応援することは当然だが、だからといってなぜ公立保育園を民営化することにつながるのか意味がわからない(C)
	P24 「市は金がない、保育士を確保できない」という理由で統廃合・民営化を進めるのは、やめるべき(E)
	別紙1 保育園の1年当たりの官民の運営費の比較、運営費の違いを計算して欲しい(B) 市運営の場合でも国からの交付税措置があるにもかかわらず、しゅん別できないとして市の負担額を大きく見せているのではないか(C)
その他	P2 第4次蒲郡市総合計画におけるSDGs対応表を見て、下線を引くべきところは総合計画の4番目の「ひとり親家庭支援の充実」のところではないか(B)
	この計画を目にすることすらできない人もたくさんいる。そもそも意見募集を知らない人が多すぎる(A)
	コロナ禍の中、子どもたちがのびのび育つ環境をどうやって守るかを最優先で検討すべき。コロナ禍の真っ最中に、10年後、20年後の保育園のあり方を検討している場合ではない(E)
	保育園は子どもだけでなく大人のつながりも育み、地域のきずなを支える場所だということ盛り込むべき。卒園後も子どもたちが遊びに行けることが、地元への愛着をつくることにもなる。まちづくりの観点を忘れてはいけない(E)